

KRC WEB REPORT

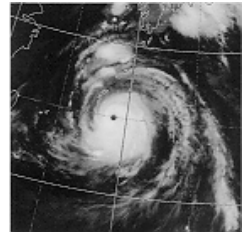
KRC ウェブレポート

2005年9月20日号 No.030

今月のキーワード：サーモグラフィー法（2）

徒然想

また今年も、台風の猛威に、改めて自然の恐ろしさを痛感致しました。被害に遭われた方々には心からお見舞い申し上げます。さて、台風情報では常に気圧に関する情報を提供していますが、この中心気圧はどうやって計測しているのでしょうか。実は、ここでも画像データが活躍しています。ドボラック法と呼ばれるこの方法では、雲画像のパターンにより台風を分類し、これに雲バンドの幅や長さ・雲の温度などの状況、そして台風が発達中か衰弱中かという要素も加味して台風の中心気圧を決定します。付近を航行中の船舶などの観測データがあれば、これも考慮しています。安全、迅速、正確な計測手法のひとつとして、画像データの解析は多様なジャンルでさらなる活躍が期待できそうです。



気象庁台風情報
(写真: 気象庁 HP より)

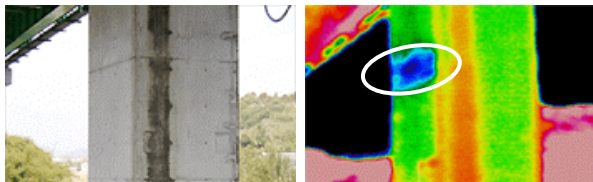
KRC TECHNICAL TOPICS

サーモグラフィー法（赤外線法）による法面・橋梁の劣化調査

モルタル吹付け法面は、老朽化すると、背面地山の風化、空洞化、ひび割れ拡大によりモルタル剥離や落石を生じたりする恐れがあります。また、橋梁のコンクリート劣化は、耐久性や耐荷力の低下につながるだけでなく、剥落により、下を通行する車両や歩行者に危害を与える危険性があります。近年、これらの構造物は、老朽化が著しく、対策工の必要箇所の抽出や、施工の順位付けを効果的に行うことが急務となっています。

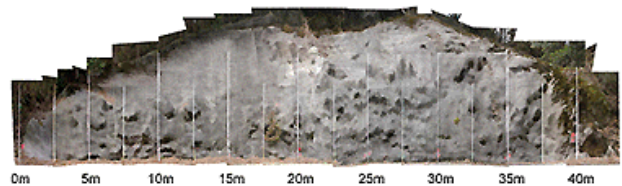
そこで、これらの劣化箇所をサーモグラフィー法を使用することにより、足場を必要とせず、安全かつ迅速に調査することが可能です。モルタル吹付け法面では、背面空洞や背面湧水、橋梁では、鉄筋腐食によるコンクリートの浮きやジャンカ、漏水を生じているひび割れなどを検知することができます。

【詳細: http://www.krcnet.co.jp/f_works025.htm】

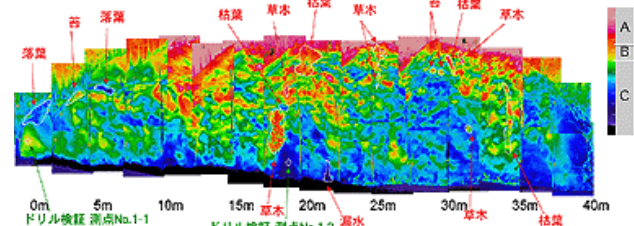


橋脚可視画像

熱赤外線画像



モルタル吹付け法面可視画像



熱赤外線画像(夜間撮影)

- 凡例
- A: 健全度が高い部分
 - B: 土砂又は小さな空洞が存在する可能性がある箇所
 - C: 吹付け法面の背後に空洞が存在する可能性が高い場所

KRC NEWS

『刻まれた鼓動 歓喜院聖天堂の建築彫刻展』: 2005年10月8日～11月20日、埼玉県立博物館
弊社が修理事業に協力しております重要文化財 聖天山^{かんぎいんしょうてんどう} 歓喜院聖天堂(埼玉県妻沼町)の特別展が開催されます(主催: 埼玉県立博物館、共催: 宗教法人歓喜院)。同建造物の主要な彫刻や彩色見取図など貴重な品々が展示されます。ぜひ、この機会にご覧下さい。10/1に合併により熊谷市になります。

(株)計測リサーチコンサルタントへのお問い合わせは、

E-mail: krc@krcnet.co.jp ホームページ: http://www.krcnet.co.jp/mail/mail_maga.htm で承っております。